

海軍公報

(部内限) 第四千四十七號

海軍大臣官房

昭和十七年三月十九日(木)

○令達

シメラレ度

追テ附議事項ハ別ニ海軍省醫務局長ヨリ通牒ス

一 開催期日 昭和十七年五月七日、八日

二 場 所 海軍省醫務局

三 參集者 各鎮守府軍醫長

湊、別府、嬉野、霞ヶ浦、山中及野比
各海軍病院長

海軍軍醫學校長

各鎮守府附軍醫科士官各一人(海仁會
病院長)

四 旅 費 請求ヲ俟ツテ別途配付セラル

海人機密第一號ノ九〇

昭和十七年三月十八日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

(限 内 部)

官房第二八八號ノ四

昭和十六年官房第六七〇七號ニ依ル第二十四海軍軍用
郵便所ハ三月十一日ヨリ事務ヲ開始ス

昭和十七年三月十一日

海軍大臣

(昭和十六年十二月二十六日本編参照)

○通牒

官房第一五〇五號

昭和十七年三月十九日

海軍次官

各鎮守府司令長官
海軍軍醫學校長

鎮守府軍醫長打合會議開催ニ關スル件申進
鎮守府軍醫長打合會議左記ニ依リ開催相成候條參集セ

海軍公報(部内限) 第四千四十七號

昭和十七年三月十九日

二七七

戦歴ノ履歴記註ニ關スル件通牒
履歴書(表)ニ戰歴ヲ詳細ニ記註スルコトハ機密保持
上遺憾ノ點有之ヤニ存セラレ候ニ付古今戰歴ノ記註ハ
左記要領ニ依ルコトトシ作戰ノ内容戰闘ノ情況等ニ關
スル事項ハ一切之ヲ記註セザル様取計相成度

第十一期内種飛行豫科練習生被採用者ハ六月一日迄
鹿屋海軍航空隊（殘留隊）内土浦海軍航空隊派遣隊
直接入隊セシメラレ度

(土浦海軍航空隊)

一、記註例

至自
年年
月月
日日

布哇方面作戰二從事

南洋群島方面作戰二從軍

卷一百一十一

南洋羣島方面作戰。從事

二 作戦方面ノ名稱ハ昭和十六年海人機密第八六號
（十二月三十日海軍）ニ依リ戰死者ノ家族ニ通知スル場合
（公報（部内限）参照）ノ名稱ノ程度ニ止ムルコト

卷之二

四

解
令

第一課勤務ヲ命ス
(三明海軍省軍需局)
海軍工作特務大尉 根本 長吉

海軍工作特務大尉 根本 長吉

卷之三

○入隊期日

海軍公報

(部内限) 第四千四十八號

昭和十七年三月二十日(金)

海軍大臣官房

○令達

官房機密第三二〇四號
所屬長官ハ三月三十一日現在員(特ニ指定スル者ヲ除ク)ニ付左記標

準ニ依リ年度未賞與ヲ支給スペシ但シ昭和十六年十二月二日ヨリ本年三月三十一日迄ノ日數ヲ賞與ノ一期間

トシ、扶養家族ノ範圍ハ海軍臨時家族手當支給規則第

三條所定ニ準ズ

昭和十七年三月十七日

海軍大臣

記

賞與額(本俸又ハ給料ニ付)

一士官、候補生、兵、高等文官、

同待遇者及勅奏任官待遇囁託者(一時ノ報酬ヲ受クル者及本官アル者ヲ除ク)

(三)(二)(一)扶養家族ナキ者
扶養家族三人以内ノ者
扶養家族四人以上ノ者

官房第一五〇六號

昭和十三年勅令第五百六十六號、海軍武官任用令第十
八條及同第二十八條ノ規定ニ依リ海軍造兵科士官ヲ採

一・三月分以内
一・四月分以内
一・五月分以内

扶養家族ナキ者

扶養家族三人以内ノ者

扶養家族四人以上ノ者

一・五月分以内
一・六月分以内
一・七月分以内

一・雇員、傭人(日給者)

扶養家族ナキ者

扶養家族三人以内ノ者

扶養家族四人以上ノ者

四十五日分以内
四十八日分以内
五十一日分以内

二特務士官、准士官、下士官、
高等官官等俸給令別表第二表第
二號ノ俸給ヲ受クル高等文官、
判任文官、同待遇者、判任官待
遇囁託者若ハ無待遇囁託者(時
ノ報酬ヲ受クル者及本官アル者ヲ除ク)、雇員及傭人

(月給者)
扶養家族ナキ者
扶養家族三人以内ノ者
扶養家族四人以上ノ者
一・雇員、傭人(日給者)
扶養家族ナキ者
扶養家族三人以内ノ者
扶養家族四人以上ノ者
一・五月分以内
一・六月分以内
一・七月分以内

用ス
之ガ取扱ニ關シ左ノ通定ム

昭和十七年三月十九日

海軍大臣

(別紙一葉添)

兵備二機密第二五五號

昭和十七年三月十九日

海軍省兵備局長

○通牒

一 現ニ土木建築ノ業務ニ從事シ左ノ各號ノ一ニ該當
ナル海軍技師、技手又ハ囑託ニシテ海軍造兵科士官
タクシコトヲ志願スル者ハ昭和十七年四月五日迄ニ
別紙様式ニ依ル願書ニ履歴書ヲ添ヘ順序ヲ經テ海軍
大臣ニ願出ヅベシ

(一) 大學令ニ依ル大學ノ工學部又ハ理學部ニ於テ學
課ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者(囑託ハ昭和
十七年五月一日ニ於テ滿三十年以下ノモノ)
(二) 造兵(土木建築)ニ必要ナル學術技藝ヲ教授ス
ル専門學校又ハ之ト同等以上ノ學校ニ於テ造兵科
ノ士官ニ必要ナル學科ヲ修メ卒業シタル者(囑託
ハ昭和十七年五月一日ニ於テ滿二十七年以下ノモ
ノ)

關係各廳殿

内燃機關用液化石油瓦斯配給キ關スル件

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通照會有之候條可然處理相成度
(別紙)

一七年二部發第三〇號

昭和十七年三月五日

燃料局第二部長 山口 真澄

海軍省兵備局長殿

二 所轄長ハ前項志願者ニ就キ別紙様式ニ依ル所見表
ヲ調製シ四月十日迄ニ順序ヲ經テ之ヲ海軍省人事局
長ニ送付スベシ

三 採用試験ハ之ヲ實施セズ

内燃機關用液化石油瓦斯配給ニ關スル件
内燃機關用液化石油瓦斯ニ關シテハ今般公定價格ノ公
布ト共ニ石油配給統制規則ニ基キ石油副生物ニ指定シ
三月一日ヨリ實施セラレ石油共販株式會社及地方石油

販賣會社ヲシテ一手ニ取扱ハシムルコトト相成瓦斯容

器ハ石油共販所有ノモノヲ貸與液化石油瓦斯ハ正味中
味賣トシ且又從來ノ如キ充填方法ニ依ラズ豫メ充填シ
置キタル瓦斯容器ヲ交換着脱シテ配給ノ圓滑ヲ期セん
トスルモノニ有之候處貴廳所有ノ液化石油瓦斯自動車
ノ瓦斯容器ハ石油共販所有ノ容器ト寸法ヲ異ニスル爲
着脱不可能ニシテ配給ノ圓滑ヲ期シ難ク候ニ付テハ至
急石油共販所有ノ瓦斯容器ヲ着脱シ得ル様改裝方御配
慮相成度尙此旨貴管下關係方面へ御通達相煩度此段及
依頼候也

追而右ニ依リ貴廳所有ノ瓦斯容器不用トナリタル場
合ハ可成壓縮瓦斯用容器トシテ利用セシメ度ニ付高
壓瓦斯機關工業株式會社ヘ拂下方御配慮相煩度

海人機密第一號ノ九三

昭和十七年三月十九日

海軍省人事局長

關係各所轄長殿

年度末賞與支給ニ關スル件申進

本年官房機密第三二〇四號ニ依ル年度末賞與ハ左記ニ
依リ取扱フモドリ知相成度

海軍公報(部内限)第四千四十八號

昭和十七年三月二十日

二八一

記

一 海軍文官、同待遇者、囑託者又ハ雇員傭人ニシテ
在籍ノ艦海軍ニ召集セラレ本年三月三十一日ニ於テ

海軍軍人タル者ニ對シテハ海軍文官、同待遇者、囑
託者又ハ雇員傭人タル身分ニ於ケル俸給、報酬金又

ハ給料ニ付召集中ノ日數ヲ除算シタル勤務日數ニ應
ジ算出シタル金額ヲ在籍廳ニ於テ支給シ召集中ノ海

軍軍人タル身分ニ於ケル俸給ニ付召集中ノ勤務日數
ニ應ジ算出シタル金額ヲ現所屬廳ニ於テ支給ス

二 海軍文官、同待遇者、囑託者又ハ雇員傭人ニシテ
在籍ノ艦海軍ニ召集セラレ本年三月三十一日以前ニ
召集ヲ解除セラレ在籍廳ニ復歸シタル者ニ對シテハ
本年三月三十一日現在ノ海軍文官、同待遇者、囑託

者又ハ雇員傭人タル身分ニ於ケル俸給、報酬金又ハ
給料ニ付召集中ノ勤務日數ヲ通算シ算出シタル金額
ヲ在籍廳ニ於テ支給ス

三 海軍文官、同待遇者、囑託者又ハ雇員傭人ニシテ
在籍ノ艦陸軍ニ召集セラレ本年三月三十一日ニ於テ
召集中ノ者又ハ其ノ以前ニ於テ召集ヲ解除セラレ在
籍廳ニ復歸シタル者ニ對シテハ本年三月三十一日現
在ノ海軍文官、同待遇者、囑託者又ハ雇員傭人タル

身分ニ於ケル俸給、報酬金又ハ給料ニ付召集中ノ日數ヲ除算シタル勤務日數ニ應ジ算出シタル金額ヲ在籍廳ニ於テ支給ス

四 海軍軍人ニシテ大東亞戰爭ニ關シ陸軍ノ勤務ニ從事セシメラレタル者ニ對シテハ陸軍ニ於ケル勤務日數ヲ通算シ算出シタル金額ヲ海軍ノ在籍廳ニ於テ支給ス

五 昭和十六年十二月二日ヨリ本年三月三十一日迄ニ二回以上召集セラレタル者ノ召集中ノ日數ハ其ノ前後ノモノヲ通算ス

六 海軍文官、同待遇者ニシテ昭和十六年勅令第八百四號ノ規定ニ依リ海軍ノ勤務ニ從事シ本年三月三十一日ニ於テ海軍軍人タル者ニ對シテハ海軍文官ハ同待遇者タリシ身分ニ於ケル俸給ニ付昭和十六年勅令第八百四號ニ依ル勤務日數ニ應ジ算出シタル金額ト海軍軍人タル身分ニ於ケル俸給ニ付昭和十六年勅令第八百四號ニ依ル勤務日數ニ應ジ算出シタル金額ヲ在籍廳ニ於テ支給ス

八 嘱託者又ハ雇員傭人タル身分ニ於ケル報酬金又ハ給料ニ付勅令第八百四號ニ依ル勤務日數ヲ除算シタル勤務日數ニ應ジ算出シタル金額ヲ在籍廳ニ於テ支給シ海軍軍人タル身分ニ於ケル俸給ニ付昭和十六年勅令第八百四號ニ依ル勤務日數ニ應ジ算出シタル金額ヲ現所屬廳ニ於テ支給ス

九 嘱託者又ハ雇員傭人ニシテ在籍ノ儘昭和十六年勅令第八百四號ノ規定ニ依リ海軍ノ勤務ニ從事シ本年三月三十一日以前ニ其ノ勤務ヲ解除セラレ在籍廳ニ復歸シタル者ニ對シテハ本年三月三十一日現在ノ嘱託者又ハ雇員傭人タル身分ニ於ケル報酬金又ハ給料ニ付昭和十六年勅令第八百四號ニ依ル勤務日數ヲ通算シ算出シタル金額ヲ在籍廳ニ於テ支給ス

経豫第四號ノ一六

昭和十七年三月十九日

海軍省經理局長

山田知章

○辭令

各支出官殿

年度末賞與支出科目ノ件通牒

本年官房機密第三二〇四號及昭和十五年官房機密第四

一六二號ニ依ル年度末賞與支出科目ハ左ノ通取計相成

度

一 賞與ノ科目設置アルモノ及特ニ指示アル場合ノ外

各基本給支辨科目

二 三月三十一日附所屬ヲ轉ジ又ハ其ノ他ノ事由ニ依

リ基本給支辨科目ヲ異ニスル者ニ付テハ從來ノ基本
給支辨科目

経豫第四號ノ一七

昭和十七年三月十九日

海軍省經理局長

各支出官殿

年度未賞與支給額調ノ件通牒

本年官房機密第三二〇四號及昭和十五年官房機密第四
一六二號ニ依ル年度未賞與支給額調昭和六年經豫第五
七四號ニ準シ調製來四月十五日迄ニ當局ニ提出相成度

軍令部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額參千圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
(三十五日海軍省)

岡本禹一

軍令部ニ於ケル調査事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千八百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇ト
ス(以上二月同)

岡本禹一

第三艦隊ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千八百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇ト

ス(以上二月同)

遞信技師

鶴見嘉一

同

村井愛太郎

同

船津重太郎

同

井出浩

同

翠川信遠

同

吉見惣一

同

高橋勝

海軍公報(部内限)第四千四十八號 昭和十七年三月二十日

二八三

(各通) 同 遞信屬 内牧 哲雄
同 横本 正治
遞信技手 國廣 和作
佐藤 喜一
青木 新次
土谷 宇三四
佐藤 格

陸軍主計大尉 村井 宇一
枝國 勇夫
西村 好夫
岡田 勢一
古賀 龍雄

海軍省事務ヲ嘱託シ部内限勅任官待遇トス
海軍省事務ヲ嘱託ス

海務院技師 水品 政雄

(各通)
海軍省事務ヲ嘱託シ部内限奏任官待遇トス(以上請)
海軍省事務ヲ嘱託ス

海軍省事務ヲ嘱託ス(二回同)

(各通) 貳千百貳拾圓 横山 六輔
千參百貳拾圓 水谷 岩三郎

軍令部ニ於ケル事務ヲ嘱託ス
但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官
待遇トス(二回同)

(各通)
海軍省事務ヲ嘱託ス(三回同)

吉川 英治

軍令部ニ於ケル編纂事務ヲ嘱託ス
但シ報酬年額五千圓ヲ給シ部内限勅任官待遇トス
(二回同)

海軍省事務ヲ嘱託ス(三回同)
東京帝國大學教授 西 健

大本營海軍部ニ於ケル事務嘱託ヲ解ク(三回同)

外務屬 柴崎 菊雄
臺灣總督府農業試驗所技師 江口 庸雄
臺灣總督府交通局技師 速水 和彦

横須賀海軍工廠ニ於ケル研究業務ヲ嘱託シ報酬年額
四百圓ヲ贈與ス

(各通)	同	入江 征記	海軍兵曹長 久保義二郎
臺灣總督府交通局參事	丸岡道夫	海軍中佐 藤本	傳(艦)本
臺灣總督府交通局副參事	一川澄夫	渡邊薰	雄(航)本
馬公警備府ニ於ケル業務ヲ嘱託ス	藤井一二	池澤政幸	(伊三潛)
馬公海軍建築部ニ於ケル事務ヲ嘱託ス	松末勇	大場佐一	(同右)
高雄在勤海軍武官府ニ於ケル事務ヲ嘱託ス	同	海軍大尉 海軍機關中佐	福島輝熊(佐工廠)
馬公警備府ニ於ケル事務ヲ解ク	松本虎太	喜多見芳夫	(伊三潛)
馬公海軍建築部事務ヲ解キ馬公警備府ニ於ケル事務ヲ嘱託ス	山本繁造	中川勝也	(佐工廠)
(各通)	同	竹谷慶次郎	片桐敏朗(艦)本
馬公海軍建築部事務ヲ解キ馬公警備府ニ於ケル事務ヲ嘱託ス	同	海軍機關大尉	伊號第三十二潛水艦審議委員ヲ命ス(伊三潛)
(各通)	同	海軍造船大尉	伊號第三十二潛水艦政
水路部ニ於ケル氣象事務ヲ嘱託ス(以上三請同)	荒川秀俊	本部	本部
○事務所設置	矢木秀雄		
敷設艇濟州艦裝具事務所ヲ三月十六日大阪市此花區櫻島南之町一七株式會社大阪鐵工所櫻島工場内ニ設置シ事務ヲ開始セリ	荻原晰二		
○移轉	今井一郎		
○風間勝司			
○松島海軍航空隊(假稱)設立準備事務所ヲ横須賀海軍			

航空隊内ニ
移轉セリ

海軍公報（部内限）第四千四十八號 昭和十七年三月二十日

二八六

1494

(別紙)

願書式其ノ一(用紙美濃白紙)

(昭和十七年三月二十日海軍公報(部内限))

年 月 日

本籍

現住所

海軍大臣宛

海軍造兵科士官任用願

私儀昭和十三年勅令第五百六十六號ニ依ル海軍造兵科士官志願ニ付任用相成度

(履歴書添)

願書式其ノ二(用紙美濃白紙)

本籍

現住所

年 月 日 職位勳氏名

海軍大臣宛

海軍造兵中(少)尉任用願

私儀海軍武官任用令第十八條(第二十八條)ノ規定ニ依ル海軍造兵中(少)尉志願ニ付任用相成度

(履歴書添)

(終)

履歴書式(用紙美濃白紙)

履歴書

戸主又ハ戸主トノ續柄

名

氏

何年何月何日生

一、修學及卒業シタル學校名(中等學校以上)並ニ其ノ年月日

二、海軍文官、嘱託又ハ工員トシテノ経歴

右ノ通相違ナシ

年 月 日

氏

名

④

(別紙)
(用紙適宜)

(昭和十七年三月二十日海軍公報(部内限))

所見表

見所一般	績成検査體身	元身	要概況家庭	序順抜選
昭和 年 月 日 所轄長職官 氏 名	行性 能技 務勤	兵役關係 (ニ武官トシテ陸軍ノ任用ノ兵籍) 海軍武官任用令第三條第三號又ハ第四號ニ該當ノ有無	成績 卒業年次 出身學校	別部轄所 級俸(職)現官 月生年 氏名

海軍公報(部内限)第四千四十九號

昭和十七年三月二十三日(月)
海軍大臣官房

○令達

昭和十七年三月二十日

海軍大臣

部)

官房機密第三三六五號

昭和十七年三月二十日
官房
南支海軍特務部、第二遣支艦隊軍法會議及第五海軍軍
用郵便所ノ給與其ノ他ノ經費支拂ハ第一海軍經理部部
員ヲシテ之ヲ掌理セシム

昭和十三年官房機密第五二四〇號及同第六〇五三號ハ

之ヲ廢止ス

本令ハ昭和十七年三月一日ヨリ之ヲ適用ス
昭和十七年三月二十日

海軍大臣

第一百一、第一百二、第一百三各特設海軍經理部
第百一、第百二、第百三各特設海軍軍需部
海軍民政部

官房第二八八號ノ五

昭和十六年官房第六七〇七號ニ依ル第二十五海軍軍用
郵便所ハ三月十五日ヨリ事務ヲ開始ス

昭和十七年三月十五日

海軍大臣

官房第二八九號

(昭和十六年十二月二十六日本關參照)

第八潛水艦基地隊ニ於ケル船體機關及兵器ノ修理ニ要
スル契約、通常物品及工事費ノ整理ニ關シテハ昭和十
五年官房第六三三一號中契約、通常物品及工事費ノ整
理ニ關スル規定ヲ準用ス但シ契約擔任官及通常物品出

官房機密第三四五七號
大東亞戰爭中海軍軍需部長ハ左ノ各部ニ艦營需品及燃
料ヲ供給スルコトヲ得
詳細ニ關シテハ海軍省軍需局長ヲシテ別ニ通牒セシム

海軍公報(部内限)第四千四十九號
昭和十七年三月二十三日

二八七

納命令官ハ同隊主計長トス

昭和十七年三月二十三日

海軍大臣

○通牒

軍務一機密第二〇七號

昭和十七年三月二十日

海軍省軍務局長

各鎮守府參謀長殿

特別攻撃隊ノ記念碑等建設ニ關スル件申進

特別攻撃隊ノ偉勳ニ對シ民間諸團體等ヨリ諸勇士ノ神社記念碑銅像等ヲ建設セントシ又ハ之ガ建設發起者タラント申シ出ヅル向相當多數ニ上リ居ル狀況ナル處諸情況ニ鑑ミ之ガ建設ヲ急グハ却テ適當ナラズト認メ差シ當リ差シ控ヘラルル意向ナルニ付右舍ミノ上可然指導方取計相成度

軍需機密需第一〇五號 昭和十八年三月二十一日
依リ本號自消然滅

海軍省軍需局長

各海軍軍需部長殿

特設廳ニ艦營需品及燃料ヲ貸與、供給ニ

關スル件通牒

官房機密第三四五七號ニ依ル首題事項ニ關シテハ左記

記

實施ノ範圍

記

二 實施區分

- (イ) 本件ハ當分ノ間艦營需品定額表ヲ制定スルコト
ナク凡テ備品類ハ貸與、燃料及消耗品類ハ消耗拂
トシテ處理スルモノトス
- (ロ) 艦營需品定額表所定ノ品名ニ該當セザルモノハ
額外品トシテ處理スルモノトス
- (ハ) 額外品タル備品及消耗品ノ分類ニ付テハ兵備品
會計官吏ニ於テ定ムルモノトス

○辭令

第二課勤務ヲ命ス (三月 海軍省兵備局)
海軍主計中尉 中野 秀雄

海軍主計大尉 前中貫
中華民國ニ於ケル材料物品準備購入費、委託購入物
品費及外貨支拂ハ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス(請支
出官 海軍省經理局長)

○ 雜款

○事務開始
第二十五航空戦隊司令部事務ヲ三月二十日横濱海軍航
空隊内ニ於テ開始セリ

海軍公報(部内限)第四千四十九號

昭和十七年三月二十三日

二八九

1499

海軍公報

(部内限) 第四千五十號

昭和十七年三月二十四日(火)

海軍大臣官房

○令達

官房機密第二九八七號

昭和十六年官房機密第一二一四六號ニ依ル臨時講習終了者(徵用雇員)ノ配員等ニ關シ左ノ通定ム

昭和十七年三月十一日

海軍大臣

艦	内	帽	壹個
事業服	上衣	袴	壹組
雨衣			
兵備鞦又ハ兵夏鞦鞦			貳個
毛靴	布		
半靴			
		參個	(各期八四個以内)
		壹組	
		四組	

官房機密第三五五〇號

昭和十六年官房機密第一二五七七號ニ依ル第五十一海軍軍用電信所及第七海軍軍用電信所ハ三月二十四日ヨリ事務ヲ開始ス

昭和十七年三月二十四日

海軍大臣

(昭和十六年十二月二十九日本欄参照)

- 一 講習終了ノ日ヲ以テ各本籍地所管ノ鎮守府ニ徵用ヲ變更ス
- 前項ノ場合横須賀鎮守府司令長官ハ國民徵用規程第四條所定ノ調書(三通)ヲ添ヘ海軍大臣ニ具申スルモノトス
- 二 講習終了者ノ配員ハ下士官兵ニ準シ所管海軍人事部ニ於テ之ヲ行フモノトス
- 三 配屬先ニ於テハ當該部隊内ニ起臥セシメ糧食ヲ給シ一人ニ付左ノ被服物品ヲ貸與シ隊(團)内限リ之ヲ着用セシム

官房第一六二三號
(昭和十六年十二月二十九日本欄参照)

昭和十二年官房第四四九六號中左ノ通改正ス

海軍公報(部内限) 第四千五十號 昭和十七年三月二十四日

二九一

第四十二海軍軍用郵便所ノ事務開始ハ追テ之ヲ定ム

昭和十七年三月二十四日

表中第二十五海軍軍用郵便所ノ項設置所ノ欄「第三艦隊ノ一艦」ヲ「第二南遣艦隊ノ一艦」ニ、所屬ノ欄「第

三艦隊」ヲ「第二南遣艦隊」ニ改ム
同第四十一海軍軍用郵便所ノ項設置所ノ欄「第八十一通信隊内」ヲ「第十特別根據地隊内」ニ改メ同項ノ次ニ左ノ如ク加フ

第四十二海軍	蘭	貢	佐世保鎮守府	第一南遣艦隊	監督官	兼務一人
軍用郵便所				所長	專任一人	奏任
				所員	專任四人	判任
					專務八人	履員

（參照）昭和十二年官房第四四九六號ハ海軍軍用郵便所設置ノ件ナリ（昭和十七年二月十九日海軍公報（部内限））

官房第一六二四號

當分ノ間整備靴ニ代ヘ防暑靴ヲ貸與スルコトヲ得

昭和十七年三月二十四日

海軍大臣

各廳長殿 海軍次官

軍屬ノ翼賛選舉貫徹運動ニ關スル件事進

軍屬ハ衆議院議員選舉法ニ依リ選舉權被選舉權ヲ有シ居ルモノナルヲ以テ之ガ行使ノ差支ナキコト勿論ナルモ其ノ身分紀律軍人ニ準セラルベキモノナルヲ以テ首題運動ニ關シテハ本月四日附官房第一二〇三號申進ノ越旨ニ從ヒ指導ノコトニ取計ハレ度
追而軍屬ニシテ衆議院議員候補者ト爲リタル者當選ヲ得ンガ爲其ノ政見ヲ選舉民ニ公ニスルハ必要ノ範圍ヲ超ヘザル限り海軍刑法第百四條ノ規定ニ拘ラズ

○通牒

官房第一六二五號

昭和十七年三月二十四日

差支ナキ義ニ有之爲念

官房第一六二六號

昭和十七年三月二十四日

海軍省副官

各海軍監理長殿

海軍省兵備局長

特殊鋼鐵鋼品生產承認申請書ニ關スル件
通知

海軍軍屬ノ大日本翼賛壯年團加入ニ關スル件通牒
首題ノ件左記ノ通定メラレ候條御了知相成度

首題ニ關シテハ鐵鋼統制規則改正ニ伴ヒ自今昭和十四年十二月二十八日軍務四機密第三九八號通知ニ關ラズ何分ノ通知アル迄ハ申請書提出ノ要無ニ付了知相成度

○辭令

海軍技術會議議員海軍少將 大西瀧治郎

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス

(各通)

同 同 武部 健

海軍豫備學生 山川 清治

細田 春中

手塚 四郎

海軍豫備學生 冰野 美信

今井 鐘男

俊雄

兵備二機密第二五三號

昭和十七年三月二十四日

海軍公報(部内限)第四千五十號

昭和十七年三月二十四日

二九三

海軍公報（部内限）第四千五十號 昭和十七年三月二十四日

二九四

同 同 松下 勉
同 東條 正久
熊井 茂三郎
三澤海軍省

○ 雜 款

○赴任
當隊ヘノ轉勤者ハ當分ノ間木更津海軍航空隊内同隊ニ
赴任セシメラレ度
追テ家族移轉料支給上ノ勤務地ハ青森縣上北郡三澤
村トス

（三澤海軍航空隊）

1503

海軍公報

(部内限) 第四千五十一號

昭和十七年三月二十五日(水)

海軍大臣官房

○令達

官房機密第三六三六號
海軍軍用資源祕密保護規程中左ノ通改正ス

昭和十七年三月二十五日

海軍大臣

第二十三條ノ二 指定官憲ハ軍用資源祕密ノ管理者重要機械製造事業法ニ基ク申請、報告、届出等ヲ爲ス場合ニ於テハ特ニ指示スル場合ヲ除クノ外左ノ区分ニ依リ開示又ハ交付セシムベシ

- 一 兵器名ハ固有名稱ニ依ルコトナク、重要機械製造事業法施行規則ニ定ムル名稱ヲ以テスルコト
- 二 生産額又ハ生産能力ハ金額ヲ以テ表示スルコト
- 三 設備ノ臺數、能力及寸度並ニ從業者ノ員數ニ付テハ制限ヲ爲サズ

第二十五條ノ二 前條ノ規定ハ軍用資源祕密ノ管理者重要機械製造事業ニ關スル法令ニ依リ海軍大臣及商

海軍公報(部内限) 第四千五十一號

昭和十七年三月二十五日

二九五

○辭令

工大臣ニ對シ報告、届出等ヲ爲サントスル場合ニ之ヲ準用ス
別紙第一様式中「及第六條」ヲ削ル

○雜款

南方政務部ニ於ケル事務ヲ囑託ス
但シ報酬月額七拾五圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待遇セラル(主計南方政務部)

○郵便物發送先

第八驅逐隊司令ハ二月二十日司令驅逐艦ヲ大潮ヨリ朝潮ニ變更セリ
(第八驅逐隊)

自今左ニ依リ發送相成度

吳郵便局氣付

名

同上ニ包含スル部名
(總務部、貿易部、技術部)

七參貳 テ壹四
セ參貳 テ壹四
セ壹〇 テ壹四
セ參貳 テ壹四
セ參貳 テ壹四

小島隊
(第一作業部)
(第二作業部)
(第三作業部)
(第四作業部)
安藤隊
(第一百一海軍燃料廠)

司令、隊宛

隊機關長宛

軍醫長宛

主計長宛

追テ大潮、満潮ハ分離行動中ニ付同艦關係書類並ニ
當隊宛ノモノニシテ各艦ニ關係アルモノハ寫一通同
艦宛直送相成度

荒潮 潮
大潮 潮
滿潮

各艦ニ直送ヲ得度
(第三十四驅逐隊)
○練習生並ニ特技兵試験問題ニ關スル件照會
當隊行動(自五月中旬期間)ノ關係上首題試験ハ各艦單
獨實施ノ豫定ニ付右期間中ハ各艦別ニ送付方取計相成
度
尙同期間中ハ極メテ便船妙ク且ツ不確定ニ付早目ニ送
付ヲ得度
(第一驅逐隊)
○事務開始
第二海軍軍需部ハ三月十日舊海南海軍軍需部香港支部
ニ於テ事務ヲ開始セリ
○殘務整理
第四潛水戰隊司令部殘務整理ヲ橫須賀潛水艦基地隊内
ニ於テ行フ
○入隊
昭和十七年六月一日入隊ノ第十一期内種飛行豫科練習
生ハ土浦海軍航空隊鹿屋派遣隊(鹿屋海軍航空隊殘留
隊内)ニ入隊セシメラレ度
追テ所見表モ同隊宛直送相成度

主計長宛
司令、隊機關長、軍醫長宛
主計長宛
追テ各艦ニ關係アル書類ニシテ急ヲ要スルモノハ寫

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千五十二號

昭和十七年三月二十六日(木)

海軍大臣官房

○令達

官房第一六七六號

昭和十五年官房第五三一三號中左ノ通改正ス

昭和十七年三月二十六日

海軍大臣

(別表)

國	名	増給率	適用期間	西	班	牙	○、一〇	同
英	國	○、四〇	昭和十六年三月乃至	瑞	典	○、三〇	同	
佛	國	○、三〇	同	洪	牙	利	○、一〇	同
獨	國	○、一五	同	羅	馬	尼	○、一〇	同
伊	西	○、二五	同	ブルガリヤ	○、一〇	同		
太	利	○、一〇	同	ボルトガル	○、一〇	同		
瑞	國	○、一〇	同	芬	蘭	○、三〇	同	
加	奈	○、一〇	同	白	耳	義	○、二〇	同
メ	シ	○、三〇	至昭和十七年三月乃至	埃及	及	○、二五	同	
キ	コ	同		イラーク	○、二〇	同		
二九七				加那利	○、二〇	同		

海軍公報(部内限)第四千五十二號 昭和十七年三月二十六日

ケニヤ植民地	○、二五	同
英領印度	○、四〇	同
蘇聯	○、四〇	月昭和十七年二月及三

○通牒

官房第一六五三號
昭和十七年三月二十五日

海軍次官

各所屬長官殿

賞與ノ一部ヲ以テ國債又ハ債券買入ニ關
スル件申進

サルバドル	○、三〇	同
パナマ	○、三〇	同
玖馬	○、三〇	同
コロンビア	○、三〇	同
ヴェネズエラ	○、三〇	同
祕露	○、三〇	同
ボリヴィア	○、三〇	同
智利	○、三〇	同
亞爾然丁	○、三〇	同
米國	○、三〇	同
ウルガイ	○、三〇	同
ブラジル	○、三〇	同
巴拉圭	○、三〇	同
エクアドル	○、三〇	同
南阿聯邦	○、三〇	同

首題ノ件ニ關シテハ從來年末賞與等ニ於テ之ヲ實施シ
相當ノ成果ヲ納メツツアル處戰時財政ノ進展ニ伴ヒテ
政府ノ貯蓄増加目標額モ逐次増加セラレ從ツテ今後一段ト國民貯蓄ヲ増強シ以テ公債ノ圓滑ナル消化ト購買
力ノ吸收ヲ圖ルハ現下喫緊ノ要務タルニ鑑ミ此ノ際昭
和十六年官房第三一九八號第四號ヲ左ノ通改正シ海軍
トシテモ極力之ガ目的達成ニ協力スルコトニ定メラレ
候條可然取計相成度

四 買入額標準

左ノ額以上本人ノ申出額トス但シ賞與最高額ノ五割
以下ノ賞與ヲ受タル者ニ付テハ本人ノ申出額トス
賞與額百圓以下ノ者

賞與額ノ一割相當額以上

賞與額二百五十圓以下ノ者

同 一割五分相當額以上

賞與額五百圓以下ノ者

同 二割五分相當額以上

賞與額千圓以下ノ者

同 三割相當額以上

賞與額二千圓以下ノ者

同 三割五分相當額以上

前項ニ依リ債券ノ買入ヲ爲ス賞與ニ付テハ昭和十三年宜房第三〇八四號申進ニ依ル貯金ハ之ヲ爲スニ及

バザルモノトス
艦隊所屬艦船等ニシテ本要領ニ依リ難キ特別ノ事情

アルトキハ所屬長官ノ定ムル所ニ依ルモノトス

官房機密第一二八〇號ノ通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關ス

賞與額二百五十六日

海軍省副官

海軍公報(都内版)第四千五十二號 昭和十七年三月二十六日

二九九

各廳長殿

郵便物ニ關スル件通牒

官房機密第一二八〇號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關スル例規中左記ノ通改メラレ候

記

附錄 所在地區別符表(其ノ三)中ニ左ノ如ク加フ

蘭	貢	イ武五
ボ	一ト、ブ、レ、ヤ	イ武六
ミンガラトン	イ	イ武七
タ	ボ	イ武八
(其ノ四)	中ニ左ノ如ク加フ	
チモール島	セ壹六	
タリスマス島	セ壹七	
デリ	一	
サンガサンガ	セ壹八	
パレバ	セ壹九	
セ貳〇		

派遣隊　セ四八

〔附〕有線電報ニ關スル件中「四、第四艦隊陸上部隊宛
私報」ヲ「第四艦隊陸上部隊宛及第三乃至第六通信隊
宛私報」ニ改ム

○辭令

渡邊孝吾郎

第三艦隊ニ於ケル事務ヲ嘱託ス
但シ報酬年額參千四ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

北村新吉

武田久勝

土田賴孝

小賦繁太郎

久保田博

牧野英夫

塩原保六

加藤榮太郎

(各通)

同
（其ノ四）末尾ニ左ノ如ク加ヘ第
一、第二、第三、第五、第六設營班ヲ削除ス
第三艦隊ニ於ケル事務ヲ嘱託シ部内限奏任官待遇ト
ス（以上主計海軍省）

川島年

マノクワリ	セ貳參
フアクアク	セ貳四
ブルナテ	セ貳五
ソロカ	セ貳六
コラカ	セ貳七
ソロカ	セ貳八
同　部隊區別符表（其ノ二）末尾ニ	
同　張所	ウ壹貳貳
同　（其ノ三）末尾ニ	ヲ加フ
第　三　測　量　隊	イ四七
第　九　設　營　班	セ四五
第　一　測　量　隊	セ四六
第　二　測　量　隊	セ四七

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限勅任官待遇トス

松井 小三郎
島村 秀雄
下田 幸三郎

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限勅任官待遇トス(以上^{三月}同)

中目 真隆
今村 義郎

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限勅任官待遇トス(以上^{三月}同)

高原 廣衛
菅野 寅吉
藤野 静

第一航空艦隊薦科治療業務ヲ囑託ス
但シ報酬年額貳千四百五拾圓ヲ給シ部内限勅任官待遇トス(以上^{三月}同)

從五位 豊田 久二

海軍省事務ヲ囑託シ部内限勅任官待遇トス

通信書記 中村 優男

(各通) 海軍豫備機關大尉 本田 太一

海軍省事務ヲ囑託ヲ解ク(以上^{三月}同)

海軍豫備機關中尉 田村 篤

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

海軍公報(部内限) 第四千五十二號 昭和十七年三月二十六日

板部 成雄
上田 稲雄
原 三郎
守屋 公平
高原 廣衛
菅野 寅吉
藤野 静
山口 增人
加頭 或
利根川 捷一
菅野 稔吉
柏谷 豊太郎
鶴飼 善太郎
井上 央
細野 俊郎
眞山 賢子
山口 敏宗
忠保 裹
村上 卵之松
佐藤 信勝
原重太郎

（各通）

笠井 元一 太田 中橋 和明

小野 大力

中谷 正由喜

江田 六郎

佐久間 忠夫

多田 三之輔

久保 勘一

川上 宇一郎

倉橋 介

河合 芳雄

筧 弘一

河野 健吉郎

宗 田 登

安 田 久夫

北 村 勇夫

水 上 純一

廣 田 元近

石 川 悟

朝 寶

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ嘱託シ部内限奏任官待遇トス（以上^{ミサカ}同）

軍令部部員海軍中佐 井浦 祥二郎

志野 正男

第一部第二課兼第二部第三課勤務ヲ命ス（^{ミサカ}軍令部）

海軍中佐 井浦 祥二郎

大本營海軍部

參謀部第一部第二課勤務ヲ命ス（^{ミサカ}軍令部）

海軍主計中尉 高橋 幹夫

千歳海軍航空隊派遣隊ニ要スル給與及其ノ他ノ経費

支拂ノ爲艦隊経費臨時分任出納官吏ヲ命ジ置キタル

處之ヲ免ス（^{ミサカ}三月 支出官 海軍省經理局長）

○ 雜 款

○司令艇變更
第二十一掃海隊司令 三月二十二日司令艇ヲ第八掃海艇ニ變更セリ

三月十一日通牒欄官房機密第三八〇號「ノ六」ヲ「ノ五」ニ訂正ス

海軍公報

(部内限) 第四千五十三號

昭和十七年三月二十七日(金)

海軍大臣官房

○令達

長崎監査官ヲ命ス

(各通)

海軍軍醫少佐 渡邊 勝雄

中町 喜三治

海軍武官任用委員ヲ命ス

近藤 美之

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

海軍軍醫大佐 大久保 信

同

海軍軍醫中佐 有馬 玄

同

海軍軍醫少佐 佐々木 佳一

同

海軍軍醫少佐 近藤 美之

同

海軍軍醫少佐 渡邊 勝雄

同

海軍軍醫少佐 近藤 美之

同

海軍軍醫少佐 小田島 祥吉

同

海軍軍醫少佐 小田島 祥吉

同

海軍軍醫少佐 海軍軍醫少佐 近藤 美之

同

海軍軍醫少佐 海軍軍醫少佐 近藤 美之

同

海軍軍醫少佐 渡邊 勝雄

同

海軍軍醫少佐 渡邊 勝雄

同

海軍軍醫少佐 海軍軍醫少佐 小田島 祥吉

同

海軍軍醫少佐 小田島 祥吉

○ 雜 款

○郵便物發送先
自今左ニ依リ發送相成度

横須賀郵便局氣付

ウ一〇五 ウ一二五(軍事郵便)

普通郵便 佐世保郵便局經由 イ〇〇 イ麥武

航空郵便 臺北郵便局經由 イ〇〇 イ參式

(第十二特別根據地隊)

四月十日迄ニ到達見込ノモノハ

横須賀郵便局氣付 ウ三〇 ウ六三

四月十一日以後到達見込ノモノハ

横須賀郵便局氣付 ウ五〇 ウ六三

(第四海軍氣象部)

○開設

第百二海軍軍需部マカツサル支部ハ二月十一日、同ア
ムボン支部ハ三月十日孰モ開設セリ

(第百二海軍軍需部)

(各通)
潜水艦調査委員會委員ヲ命ス(以上^{主計}海軍省)

第二課勤務ヲ命ス(主計海軍省人事局)